

高齢者見守りシステム 新機能追加・「H.C.R.2022」出展のお知らせ

トーテックアメニティ株式会社(本社:名古屋市西区、社長:坂井幸治)は、高齢者見守りシステム **見守りライフ** に新たにカメラ機能を2022年7月4日(月)より提供開始しました。

2016年9月に発売した **見守りライフ** は、おかげ様で全国で累計2,000台以上の導入、2022年4月現在で約190事業所の方に活用いただいています。

今回、カメラ機能の追加により、従来の離床センサーからのアラート通知に加えて利用者の様子が遠隔から見えるようになることで、訪室の判断をより適切に、転倒・転落の原因の分析に、介護者の安心の担保に、**見守りライフ** を利用できるようになります。

また、**見守りライフ** スマートフォンアプリのiPhoneへの対応と、介護ソフトウェア『ほのぼのNEXT』との連携をあわせて実施し、より導入しやすく、介護現場の業務効率の向上につながるシステムを実現します。

なお、本新機能を搭載した **見守りライフ** は、2022年10月5日(水)~7日(金)に東京ビッグサイトで開催される【第49回国際福祉機器展「H.C.R.2022」】にて展示いたします。是非、お気軽にお立ち寄りください。

新機能について

1. カメラ機能 見守りライフ『ワッチ』

居室の状況をネットワークカメラが撮影、パソコンとスマートフォンで映像確認できます。

加えて「プレ通知」を新たに対応し、設定したアラート通知の1つ前の動作を検知した段階でも映像確認が可能です。さらに、居室の状況は24時間常時録画、パソコンで再生可能です。

過去に発生したインシデントの状況確認、万が一の転倒・転落時の原因分析や、ご家族の方への経緯や状況の説明などにご利用いただけます。



IPカメラ

パソコン

スマートフォン

2. スマートフォンアプリのiPhone対応

見守りライフ をiPhoneアプリ化。離れた場所から複数の利用者の状況が確認でき、離床センサーからのアラート通知を自動受信します。ナースコールの押しボタン通知も受信可能です。



iPhone
(iOS15.1以上に対応)

※画面は全てイメージです

3. 介護ソフトウェア「ほのぼのNEXT」との連携

見守りライフが検知したアラート情報を「ほのぼのNEXT」の実施記録に自動で取り込みます。「いつ」「誰に」「何が(起きた)」を振り返って記録する手間が大幅に削減されます。



見守りライフ について

<介護ロボット補助金対象製品>



介護者の負担軽減と介護業務の効率化

詰所など居室から離れた場所から、利用者様の状態を確認できます。

効率的な介護業務を実現

利用者様の生活リズム傾向が把握出来るため、24時間シートの見直しやケアプランの作成に活用できます。

これらの積み重ねが、利用者様のプライバシー保護や介護スタッフ様の負担軽減につながります。



製品HP
totec-mlife.jp

トーテックアメニティの業務概要

1971年創業、社員数は単体2,591名、連結3,076名(2022年9月現在)、売上高は単体264億円、連結309億円(2022年3月期)。

事業は「ITソリューション事業」、「エンジニアリングソリューション事業」「検証ソリューション事業」の3つです。

これらの横断事業として「見守りライフ」は、センサー開発、筐体設計・量産化、システム開発やネットワーク構成等をトーテックグループ内で行っています。



小間番号: 1-04-09(東1ホール)
【G:コミュニケーション・見守り機器】